



# ゆしまの郷便り 平成30年2月7日発行

## 2月の予定

節分【4.5.6階】	3日(土)
【2.3階】	7日(水)
美容院	5日(月)
床屋	26日(月)
書道クラブ	中止
音楽療法【デイルーム】	10日(土)
カラオケクラブ【デイルーム】	24日(土)
外出レク【東京国立博物館】該当者のみ	21日(水)
日本舞踊【6階】	27日(火)
かちどきハンドマッサージ	19日(月)



## 2月の行事食

海鮮丼	3日(月)
ふるさと味	24日(土)

## オムライス クッキング



## お正月 (おせち)

残寒の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
今年もインフルエンザやノロウイルスが流行しています。ゆしまの郷でも数名の利用者様からインフルエンザが確認されました。  
私達がこのような病気にかからない為に、まずは手洗い・うがいを行う事が一番効果的だといわれています。ゆしまの郷では感染防止対策を徹底すると共に、ご面会の皆様にも手洗い・うがいの実施をお願いしておりますので、ご協力お願い致します。

### 家族会より

我が国の介護を取り巻く環境につき家族会役員会で年初/年央に勉強会を行っていますが本年1月報告の要旨を下記ご紹介します。

\*日本の少子高齢化の動きは止まらず、2017年100歳以上67,800人となり、新生児は2016/17年続けて100万人を切った。  
つれて社会保障費も団塊の世代が全員75歳となる2025年には年金・医療・介護で約150兆円となる見通し。

\*2015年初めて社会保障費増加抑制策に加えて、介護分野では介護離職10万人解消という名目で特養増設、介護職員処遇改善等具体的な対応策が打ち出された。  
一方、一億総活躍と称して子育て支援、働き方改革、女子の登用など検討課題とされた。

\*2017年に入り大きく社会保障の概念を変え、高齢者中心から幼児から働き手、高齢者に至る全世代型に転換するとの政策方針が決まった。ただ個別の内容と増大する経費財源の見通しは曖昧で今後の動向が注目される。

訃報  
ゆしまの郷家族会役員 菊池妃佐子様(享年71歳)が1月11日(木)交通事故の為に逝去なさいました。  
8階喫茶やゆしまの郷家族会の集いなど家族会に多大なるご尽力をいただきました。  
ご冥福をお祈りいたします。